

平成 29 年 1 月月例記者会見

会見記録

1. 記者会見内容について

〔「吉本新喜劇」生駒公演〕

市長 生駒市が指定管理を吉本南海にお願いをしてから、いろんな、面白い今までなかったような取り組みをしていただいていますけれども、その一つの集大成というような形で、もう皆さんご案内のとおり、吉本新喜劇を生駒でやっていただくと。3月16日に、たけまるホールで行います。見ていただければわかるように、非常に豪華メンバーで、吉本さんも気合を入れてやっていただいていますし、生駒市としてもたいへん嬉しく思っています。生駒で新喜劇をやるっていうのはこれが初めてになりますので、そういう意味では生駒市にとっても新しい1ページになるなと思っております。生駒市は、音楽とかスポーツを含めましてですけれども、非常に文化に関心の高い市民層がたくさんいらっしゃるということで、新喜劇というお笑いの分野も非常に人気が高いということで、生駒市にぴったりの取組みだと思えます。大人から高齢者からお子さんからいろんなかたに来ていただける非常に素晴らしい1日になるんじゃないかと思っておりますので、よろしくお願ひします。ひとつポイントとなるのが、市民のかたも、チラシにもありますけれども、オーディションを経て当日舞台に上がっていただく市民参加型の新喜劇ということです。生駒の人は、音楽イベントもそうですけれども、見に来るだけで飽き足らず、自分もやりたいとか自分も企画したいというかたが結構いらっしゃる中で、オーディション受けたいという人も結構いらっしゃると思っておりますので、そこがひとつポイントになるかと思ひます。市民参加型の吉本新喜劇をご取材をいただきまして、よろしくお願ひをしたいと思ひます。私からは以上ですけれども。何かございましたら、一言。

吉田ヒロさん 吉田ヒロです。今回は何と生駒で初めて大きなイベントをやるということでですね、新喜劇をやるので、ぜひ市長にも出ていただきたいと思ひ、そのお願ひを持ってやってまいりました。もう一度この場で、市長に出ていただきたいなと思ひまして、よろしくお願ひします。

市長 ありがとうございます。小さい頃、家で焼き飯食べながら見てた新喜劇に、自分が出ることに、こんな光栄なことはありませんので、しっかり市民のみなさんと一緒に、生駒市を代表して新喜劇ださせていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。ありがとうございます。

吉田ヒロさん では次は山田花子さんです。

山田花子さん 山田花子です。師匠、あ、いや、市長。

市長 師匠でいいです。

山田花子さん 市長に出ていただけることになったので、ぜひ恋人役で。

市長 ぼくもそれ以外だったら出ないつもりで。

山田花子さん ラブシーンもお願ひして。

吉田ヒロさん おい、俺を挟むな。

市長 さすがに昼の公演なので。それは夜ということで。

山田花子さん プライベートで、じゃあ。

吉田ヒロさん もうええわ。

山田花子さん たくさんに人に見に来てほしいです。私も。

吉田ヒロさん ありがとうございます。

記者 生駒市民がたくさん見に来ると思うんですが、それぞれ生駒市民に一言いただけますか。

吉田ヒロさん 今回は生駒限定の芝居になると思うので、生駒の人が見に来てくれたら、必ず喜べる生駒あるあるの新喜劇をやりたいと思うので、ぜひともお越してください。

市長 ありがとうございます。オリジナルの素晴らしい脚本を書いていただけるということなので。

記者 オリジナルの脚本で演技していただける？

市長 生駒の要素を入れて。

吉田ヒロさん 特別に生駒新喜劇という台本を作ると思うので、この日しか見られない新喜劇なので、ぜひとも生駒の皆さん来ていただいて喜んでいただければいいなあと思います。

記者 山田さんはいかがですか？

山田花子さん 生駒の人はすごい良い人だと聞いているので、ぜひ、たくさん笑ってほしい。いっぱい見に来て、子どももたくさん来てほしいです。

記者 市民は何人ぐらい出られる予定ですか？

吉本担当 一応 10 名程度を予定しています。オーディションの都合によっては増えるかもしれませんが、けども。

記者 明日からよーいどん、でいいんですか？

吉本担当 先着順で、今日からでも受け付けてますから。生駒市の広報にも載ってますので、もう何人かは問い合わせがありますけども。

記者 人数の締め切りは？

吉本担当 一応、オーディション 40 名くらいで締め切ろうと思ってますが、多少のオーバーは構いません。

記者 オーディションで受かったら、山田さんとも絡めるんです？講演は 2 時間半程度

吉本担当 脚本次第で。今日は座長の内場が祇園花月の初日で欠席させていただきまして申し訳ありません。

記者 この公演は通常のように漫才が終わった後に新喜劇をやるというもので？

吉本担当 そうです。2 時間半ぐらいですね。休憩をはさんで。

記者 この方々の漫才をやって休憩して新喜劇ですね？

吉本担当 はい。

記者 市民参加型の新喜劇は吉本としては過去に例があるんですか？

吉本担当 これは各地でやっています。

記者 奈良県ではどうですか？

吉本担当 奈良県でもやってると思います。結構、色々な所で地域住民の方には参加していただくパターンはあります。

記者 吉本クリエイティブエージェンシーが主催ということによろしいですか？

吉本担当 主催は指定管理者よしもと・南海共同事業体ということになります。制作が吉本クリエイティブエージェンシーになります。主催は生涯学習施設の自主事業として行いますので。指定管理をさせていただいてから初年度が一番最後を飾るイベントになりますので、ぜひ多くの皆さんに楽しんでいただけたらと思っています。メンバーにラフ次元と言う生駒市出身の若手漫才も出演しておりますのでラフ次元のお友達とか親戚とか近所の人とかいっぱい来てくれたらなあ。

記者 さっき、山田さんからの生駒のイメージを伺いましたが吉田さんはどうですか？

吉田ヒロさん 生駒市のイメージですか？いい人がいっぱいいると聞いてます。

記者 ありがとうございます。

記者 生駒と言えば、大助・花子さんがお住まいになってると思うんですが、ヒロさんや花子さんが生駒に遊びに来られたりとかいうのはありますか？

吉田ヒロさん 僕は結構生駒に来てます。知り合いが生駒近鉄で働いてまして、遊びに行って社員食堂で食事したりとかしています。

山田花子さん ロケで一回、大助・花子さんの家に遊びに行って、外にある露天風呂に入らせてもらいました。大自然を眺めながらお風呂に入らせてもらいました。

記者 生駒市は住みたい街で上位にランキングされてますけど、花子さんは移住したいとかそういうのは？

市長 さっき勧誘しておきました。

山田花子さん 子育てに良いと聞いたんで、考えております。

市長 ぜひ、前向きに。

記者 オーディションにはどんな方に来ていただきたいですか？

吉田ヒロさん やっぱり、明るくて芸の1つや2つ持っていてガンガン来てくれれば、こっちも受けて立つぞ、いう話に。とりあえず明るい人希望です。

山田花子さん 面白かったら私の地位が脅かされるので普通の人で。

記者 ありがとうございます。

〔1月2月のおすすめイベント〕

記者 スーホの白い馬って、元々入ってました？音楽祭の中に。

市長 入ってました。

記者 団体が一緒にいくつかやる？

市長 選ばれてる中の1つです。

記者 日高のり子さん、いいなあと思って。

市長 私も世代です。息子もちようど学校で「スーホの白い馬」習いますから、ちようど子どもも楽しめると。人気があって募集の追加はないんです。いっぱいになりました。

〔子どもたちが考えた「朝ごはんメニュー」が学校給食献立として登場〕

記者 中君は当日は作らないで食べる？

市長 もちろん給食で食べます。

記者 学校給食センター賞は何番目の賞なんですか？

市長 優劣付けてない。

〔生駒市 Web119〕

記者 「生駒市 Web119」はスマホでもいいんですよね？携帯電話だけでなく？

市長 もちろんです。

〔子どもたちが考えた「朝ごはんメニュー」が学校給食献立として登場〕

記者 朝ごはんメニューだけど昼ごはんに出る？

市長 そうです。いくつか彼が出してる中で特にこのスープ、2品くらい出してるんですけど、その内のスープだけなんですけど。

(了)